| 学校番号 | Ｔ０２０４ |
|---|---|

# 令和３年度　芸術科（音楽）

| 教科 | 芸術・音楽 | 科目 | 音楽Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２～４年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | ＭＯＵＳＡ１　（教育芸術出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器の演奏」「音楽づくり」「音楽の鑑賞」の４分野ついて幅広く、年間を通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストを中心に評価します。
・音楽の学習は、クラスの仲間とともに実際に歌ったり楽器をやってみたり、考えたりすることで深まっていきます。さまざまな音楽に触れ、ともに創り、みなさんの感性や心が豊かなものになることを願っています。

## ２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

## ３　学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a.音楽への関心・意欲・態度 | b.音楽表現の創意工夫 | c.音楽表現の技能 | d.鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 音楽や音楽をかたちづくっている要素に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 | 音楽をかたちづくっている要素を知覚し、それらが生み出す働きを感受して、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 | 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。 | 音楽が生み出す雰囲気を感受して、その味わいを他者に伝えることができている。 |
| 評価方法 | 観察<br>ワークシート | 観察<br>ワークシート<br>歌唱や演奏の実技 | 演奏の聴取<br>歌唱や演奏の実技 | 観察<br>ワークシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 音楽の要素と組み立て | 【歌唱】<br>校歌<br>翼をください<br>野ばら<br>メリーさんの羊<br>この道<br>故郷 | ◎ | ○ | ○ | | a:自然な声で、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:それぞれの音楽を形づくっている要素を知覚・感受しながら、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。<br>c:　創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取<br>歌唱の実技 |
| 後期 | 言葉と音楽 | 【歌唱】･【演奏】<br>合唱曲<br>サトウキビ畑<br>海へ来なさい | ○ | ◎ | ○ | | a:　パートの重なりやアンサンブルに関心をもち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:パートの重なりを知覚し、それが生み出す雰囲気を感受しながら、どのように歌うかについて、思いや意図をもっている。<br>c:　創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取<br>歌唱の実技<br>演奏の実技 |
| 後期 | 物語と音楽 | 【鑑賞】<br>サウンド･オブ･ミュージック | ○ | | | ◎ | a:　それぞれの音楽や心情に関心をもち、主体的に鑑賞しようとしている。<br>d:　音楽が演奏されているシーンや心情を知覚し、それが生み出す雰囲気を感受しながら、その味わいを他者に伝えている。 | 観察<br>ワークシート |

※　表中の観点について

a：音楽への関心・意欲・態度

b：音楽的な感受や表現の工夫

c：表現の技能

d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行なう観点（もしくは重み付けを行なう観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。